



ページ番号

1010664

住民ニーズの把握と 地域課題の解決に向けて

自治デザイン課
(本庁舎 2 階)

☎0538-37-4811

FAX 0538-32-2353

中学生以上全住民アンケートを実施しています

近年の少子高齢化や核家族化などによる住民のライフスタイルの急速な変化は、地域のまちづくりにも大きな影響を与えています。生活の困り事や住民ニーズの多様化により、地域の課題は細分化され、今まで通りの地域活動ではその課題に対応することが困難になってきています。こういった課題を解決するため地域単位で、「中学生以上全住民アンケート」を実施しています。

中学生以上全住民アンケートとは

地域によって課題は異なり、解決方法もそれぞれ異なります。こうした地域の課題解消に取り組むため、市内5つの地域づくり協議会(長野・豊浜・豊田東・豊岡東・岩田)は、地域の問題把握に大変有効な手法の一つである「中学生以上全住民アンケート」を実施し、地域自らが問題の把握と課題の整理に取り組んでいます。

今後、地域づくり協議会では、アンケート結果を参考に、地域や私たち一人一人は、何ができるのかを考えていきます。

アンケート実施団体	回収率
長野地域づくり協議会	97%
豊浜地域づくり協議会	93%
豊田東地区まちづくり協議会	87%
豊岡東地域づくり協議会	96%
岩田地域づくり協議会	現在実施中

地域活動の課題解決に向けた講演会を開催

小規模多機能自治の理解促進と地域活動のより一層の活性化を目的に、「中学生以上全住民アンケート」についての講演会を開催します。

講演会は、地域づくり協議会の役員のほか、地域活動に携わる方なら誰でも参加できますのでぜひお申込みください。

対象

自治会役員、協議会役員など、地域活動に携わる方ならどなたでも

開催日時

9月23日(祝)午前10時～正午

会場

アミューズ豊田ゆやホール
(上新屋304)

定員

先着300人

講師

里山くらしLABO
池田 水穂子氏
河村 将雄氏

申込

9月1日(金)までに
電子申請で



▲電子申請

小規模多機能自治とは

小規模多機能自治とは、自治会などの基礎的コミュニティよりも広範囲のおおむね小学校区などの範囲において、その区域内に住み、または活動する個人、地縁型・属性型・目的型などのあらゆる団体などにより構成された地域共同体が、地域実情および地域課題に応じて住民の福祉を増進するための取り組みを行うことです。

里山くらしLABOとは

里山くらしLABOは、静岡市の中山間地域において、第三者として地縁組織に伴走しながら、地域の課題を一つ一つ解決する活動を行っています。

具体的な活動としては、地縁組織に対して「自治会行事の見直し」「中学生以上全住民アンケート」「特産品補助金事業による事業継承」「地域住民による空家活用」などにより、地域の課題の見え方や数値化、全住民の巻き込みなどで変わるきっかけを提供しています。

男女共同参画社会

推進のために

女性だから・男性だからを無くそう

無意識の思い込み

何かを見たり、聞いたりすると無意識に「そうだ」と思い込んでしまうことがあります。このような無意識の思い込みは、性別の違いによっても存在しており、家庭や地域、職場など、さまざまなおところに影響しています。

性別による固定的役割分担意識

無意識のうちに「女性は家事や育児をするべきだ」「男性は家庭より仕事を優先するべきだ」といった固定的な考え方が、世の中には存在しています。

誰もが自分らしく生きていくために「女性だから」「男性だから」と役割を決めるのではなく、協力し合い、柔軟に考えていくことが大切です。



無意識の思い込みがないかチェックしてみよう

内容	チェック
家事・育児は女性がするべきだ	<input type="checkbox"/>
共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ	<input type="checkbox"/>
実の親、義理の親に関わらず、親の介護は女性がするべきだ	<input type="checkbox"/>
女性には女性らしい感性があるものだ	<input type="checkbox"/>
男性は人前で泣くべきではない	<input type="checkbox"/>
親戚や地域の会合で食事の準備や配膳をするのは女性の役割だ	<input type="checkbox"/>
女性は感情的になりやすい	<input type="checkbox"/>

参考：内閣府男女共同参画局ホームページ

ダイバーシティ推進室
(本庁舎2階)

☎ 0538-37-2118

FAX 0538-32-2353

自治会や自主防災会などの地域活動には
多様な意見を取り入れていくことが必要です

性別に関係なく地域での企画・決定の場や役員に参画することで、多様な視点での意見を取り入れることが可能となり、地域活動が活性化されると同時に、担い手不足の解消につながります。

見付地区から学ぶ男女共同参画

見付地区では、女性が自治会長を務めるなど、男女共同参画が進んでいます。



夏目 裕子 さん

- ・西坂町自治会長
(見付地区で初の女性自治会長)
- ・磐田市男女共同参画審議会委員

■自治会長になったきっかけ

地域活動を行う中で、決定の場に女性がいなことに違和感を覚えました。女性の意見を反映し、誰もが暮らしやすい地域づくりのため、自治会長をやってみようと思いました。

■女性が地域活動に参画するために心掛けていること

女性が防災について、意見を発信できるよう令和3年度に「見付地区女性防災委員会」を発足させました。また、PTA活動をしている女性にも、積極的に地域活動への参加を呼びかけるなど、女性が参画しやすくなる環境づくりを働きかけています。



文化芸術の祭典

文化振興課
(かたりあ内)

☎ 0538-37-8550

FAX 0538-37-5056

磐田市芸術祭2023開催

磐田市芸術祭は、磐田市の文化・芸術の祭典です。市が主催し、磐田市文化協会に事業を委託して実施しています。

芸術祭は、舞台での舞踊や音楽などの公演をはじめ、公募による絵画や書、写真、工芸・クラフト、短歌・俳句、また文化協会の会員による菊花、いけばな、小学生によるジュニアアートなどの展示を行います。入場は無料です。多くの方のご来場をお待ちしています。

なお、公募である絵画、書、写真、工芸・クラフト、短歌・俳句は、市民の方だけでなく、市内に在勤・在学する方も応募できます。多くの方の応募をお待ちしています。

公募展の作品募集

募集期間：8月24日(木)～9月8日(金)

※短歌・俳句は8月21日(月)～9月11日(月)

※優れた作品は表彰を行います

応募先：磐田市文化協会事務局
(豊田福祉センター3階)

芸術祭 2023 日程

公募展（会場：中央図書館）

部門	展示期間
絵画	10/ 5 (木)～10/ 8 (日)
書	10/12 (木)～10/15 (日)
写真	10/19 (木)～10/22 (日)
工芸・クラフト	10/25 (水)～10/29 (日)
短歌・俳句	11/16 (木)～11/19 (日)

※「工芸・クラフト」の10/27(金)は図書館休館

文化協会会員による展示（会場：中央図書館）

部門	展示期間
菊花	11/ 2 (木)～11/ 5 (日)
いけばな	11/10 (金)～11/12 (日)

市内小学生による展示（会場：豊田福祉センター）

部門	展示期間
ジュニアアート	11/11 (土)～11/19 (日)

文化協会会員による公演（会場：かたりあ）

部門	公演日
舞台公演	前期 10/ 8 (日)
	後期 10/22 (日)



▲絵画の部



▲書の部



▲写真の部



▲工芸・クラフトの部



▲菊花の部



▲いけばなの部



▲ジュニアアートの部



▲公演（舞台部門発表）

磐田市文化協会の活動

芸術祭を運営する「磐田市文化協会」には、現在、79団体、1022人が加盟しています。加盟団体には、絵画・書・写真・工芸・短歌・俳句・いけばな・菊花・茶道・合唱・器楽・洋舞・和楽・詩吟・日舞・民謡・芸能など、さまざまな部門があり、それぞれ積極的に活動しています。

本協会の目的は、次の2つです。

- ・ 伝統ある芸術文化の継承と発展
- ・ 市民文化の向上への寄与（啓発）

この2つの目的を達成できるよう、会員同士の交流により、語り合い、励まし合いながら研鑽を積むとともに、市民の皆さんに鑑賞や体験をしていただく工夫についても検討しています。

あなたも文化協会の仲間になって、興味から一歩進め、「学び」ながら文化の創作活動を通して人生の楽しみを広げてみませんか。

【詳しくは磐田市文化協会へ】

磐田市文化協会（豊田福祉センター3階）
住所：弥藤太島500-1

電話：0538-86-3730

FAX：0538-86-3731



▲ホームページ



▲磐田市文化協会会報「創」
(年1回発行)
会報誌でも協会の活動を詳しく紹介しています

災害に強い地域

をつくろう

危機管理課
(防災センター2階)
☎0538-37-2116
FAX 0538-32-0177

9月3日(日)は自主防災会(自治会)の
防災訓練に参加しましょう

大規模地震が発生したとき、行政や消防、警察などだけでは十分な対応ができません。「自分の命は自分で守る(自助)」「自分たちの地域は自分たちで守る(互助)」という心構えが、被害を最小限に留め、災害に強い地域をつくります。

総合防災訓練

9月3日(日)は磐田市自治会連合会で定めた総合防災訓練の統一実施日です(地域の事情により訓練実施日は異なる場合があります)。防災訓練に参加し、家族やご近所で防災・減災について話し合い、日々の備えを確認しましょう。

訓練重点項目

- ・安否確認訓練
- ・救出・救助訓練
- ・避難行動要支援者への避難支援訓練
- ・さまざまな住民が主体的に参加できる訓練
- ・その他災害初期対応を想定した訓練



▲家庭の防災点検ポイント
(8月上旬全戸配布)

安否確認はなぜ重要か

安否確認をすることで、救助が必要な人を把握することができます。この確認が早急にできないと、人命救助活動が遅れ、被害が拡大します。玄関先に黄色いタオルを掲げるなど、自主防災会で安否確認の仕組みづくりを進めましょう。

家庭での備えを確認しましょう

大規模災害時でも在宅で避難生活が継続できるよう、「家庭の防災点検ポイント」(8月上旬全戸配布)を活用し、防災点検をしてください。

住宅の耐震診断は

令和6年度まで

耐震補助は令和7年度で終了します

無料耐震診断について

耐震化の各補助制度を利用するには、まず耐震診断により住宅の耐震性がどの程度か把握する必要があります。市では、**無料の耐震診断を実施しています**が、**令和6年度で終了します**。これまでに耐震診断をしていない方で希望する場合は、お早めにご連絡ください。

木造住宅の耐震化について

市では、平成13年度から木造住宅耐震化の補助を実施してきました。令和7年度末には市内の住宅の耐震化率が、目標の95%を達成する見込みです。このため、**令和7年度で木造住宅耐震化の補助制度を終了します**ので、耐震化がお済みでない場合は、お早めにご検討ください。

対象

昭和56年5月31日以前に建築された
木造住宅

耐震診断 未実施の方		耐震性の低い住宅にお住まいの方		
無料の耐震診断	耐震補強工事	最大135万円補助 (工事費の80% 補助)	令和7年度 末で終了	※各補助制度の詳細や申請方法は、市ホームページまたは建築住宅課までご相談ください
	木造住宅 除去工事	最大50万円補助 (工事費の23% 補助)		
令和6年度末で終了	耐震シェルター	最大25万円補助 (設置費の2分の1補助)	令和8年度 以降も継続	
	防災ベッド	最大10万円補助 (購入費の3分の1補助)		



健康ないわたし。

健康長寿を目指して

高齢者支援課
(i プラザ3階)

☎0538-37-4869
FAX 0538-37-6495

9月15日は老人の日、
9月15日～21日は老人週間です

老人の日・老人週間とは

昭和26年に「としよりの日・としよりの週間」が始まりました。これが、世論を高める力となり、全国各地でさまざまな運動が展開され、平成13年の老人福祉法の改正で9月15日が「老人の日」、同月21日までが「老人週間」と定められました。

平均寿命が男女とも80歳を超える今日において、高齢者を取り巻く環境は大きく変化しています。定年後、新たな職場で活躍されている方やボランティア活動をされている方など、積極的に地域とのかかわりを持つようとする方が増えています。

多年にわたり地域や社会に尽力してこられた高齢者を敬うとともに、住み慣れた地域で誰もが安心して暮らし続けることができる社会の実現を目指していきたいと思います。

「健康」とは

「健康は幸せの源であり、生涯を通じて健康で生きがいを持ち、幸せな生活を営んでいる」という考え方による造語です。健康には、自ら健康で自立した生活ができるように努めることが大切です。

令和5年度 市内の長寿の状況

喜寿 (77歳)	2,001人 (男性 963人、女性 1,038人)
米寿 (88歳)	895人 (男性 363人、女性 532人)
百寿 (100歳)	75人 (男性 11人、女性 64人)
101歳以上	95人 (男性 9人、女性 86人)

※上記は年度内に年齢に達する方
最高年齢 男109歳、女109歳
※令和5年6月末日現在 (最高年齢は7月末日現在)

ページ番号
1001580

デマンド型乗合タクシー お助け号

自治デザイン課
(本庁舎2階)

☎0538-37-4751
FAX 0538-32-2353

日常生活の移動手段としてご利用ください

デマンド型乗合タクシー「お助け号」

は、市内を8つの地区に分けて運行している予約型乗合タクシーです。

平成22年度に竜洋地区で運行を開始し、現在は市内全域で運行しています。

自宅と指定施設の間を利用することができ、通院や買い物など、日常生活の移動手段として多くの皆さんにご利用いただいています。

運転免許証自主返納者への運賃割引

デマンド型乗合タクシーでは、65歳以上で運転経歴証明書を提示された方の運賃が半額になる制度を導入しています。運転経歴証明書は、運転免許証の自主返納の手続きをする際に警察署などで申請の上、交付を受けることができます(手数料は1100円かかります)。詳しくは警田警察署(☎37-0110)へご確認ください。

運行内容について

運賃 地区内400円(地区外は行き先により異なります)

時間 地区ごとに決められた時刻

運行日 平日・土曜日

運休日 日曜日・祝日・年末年始

※利用には事前の利用者登録(無料)が必要です。詳細は市ホームページ、または各支所、交流センターに配架しているパンフレットをご確認いただくか自治デザイン課までお問合せください



▲パンフレット



▲制度紹介動画

ラグビーワールドカップ2023 パブリックビューイング

みんなでラグビーを盛り上げよう

スポーツのまち推進課
(本庁舎2階)

☎0538-37-4832

FAX 0538-37-5034

本大会は、今やFIFAワールドカップ、オリンピックに並ぶスポーツイベントとなりました。今年も第10回となるフランス大会が9月8日(金)～10月28日(土)に開催されます。

本市では、左記のとおり予選プールのパブリックビューイングを開催します。

2019年の日本大会から早4年が経ちます。またあの感動をみんなで分かち合いたしましょう。ぜひお越しください。

ラグビーワールドカップ2023

パブリックビューイング

と き 9月10日(日)

と ころ アミューズ豊田ゆやホール

内 容 日本 対 チリ

定 員 290人

申 込 事前申込制(詳しくは市ホームページをご覧ください)

その他 天候によりBS受信の不具合で中止となる場合があります

キックオフ (日本時間)	予選プール試合
9月10日(日) 午後8時	日本 対 チリ
9月18日(祝) 午前4時	イングランド 対 日本
9月29日(金) 午前4時	日本 対 サモア
10月8日(日) 午後8時	日本 対 アルゼンチン



どうするの？ 大規模災害時のごみ

災害時も分別の徹底をお願いします

ごみ対策課
(磐田市クリーンセンター内)

☎0538-37-4812

FAX 0538-36-9797

近年、台風や地震などによる大規模災害が各地で多発しています。災害が発生した時は、通常の「生活ごみ(家庭ごみ)の他に、大量の「災害廃棄物」が発生します。災害に備え、ごみの処理方法について日頃から確認をお願いします。

災害廃棄物とは？

大規模な災害などにより壊れた家具や家電、家屋の損壊で発生した木くず、金属くず、瓦などのことです。

大規模災害が発生した時は、普段の集積所とは違う場所に市が災害廃棄物の仮置場を設置する場合があります。設置状況は市ホームページなどお知らせいたします。災害廃棄物の仮置場にも**必ず分別**してから持ち込んでください。

※災害廃棄物を分別、保管、処理するために一時的に集積する場所

仮置場まで運べない場合は？

災害廃棄物を分別して地域の広場などにまとめた場合や、高齢などにより仮置場に運べない住民がトラックで横づけできる場所に分別して出した場合は、市で順次回収しますので、ごみ対策課にご連絡ください。

大規模災害が発生した場合に備え、地域で災害廃棄物を一時的に出せる場所や出し方をあらかじめ話し合っておくこともご検討ください。



▲地域の広場に分別して出された災害廃棄物